

身体教育学研究室（鈴木隆先生）

▶鈴木先生はどのような研究や活動に取り組んでいますか？

乳幼児の運動や健康について取り組んでいます。子どもが健やかに育っていくためには、周りの大人はどのように関わりを持てばいいかといったことに関心があります。

▶この研究室やゼミ（4年次）のことについて教えてください。

私は約10年の幼稚園教諭経験および、4年の園長経験があります。大切にしていることは、「遊びに学ぶ、遊んで学ぶ」です。私のゼミでは「子どもの健やかな心身の育ちを支える保育実践」に興味・関心を持ち、自らテーマを設定し、探求的に取り組む学生の卒業研究を想定しています。この内容は幅広く、心の育ち、体の育ち、運動、ダンス、食育、保育者のあり方、環境構成など多岐にわたります。また、保育現場における情報機器の利用についても関心があります。

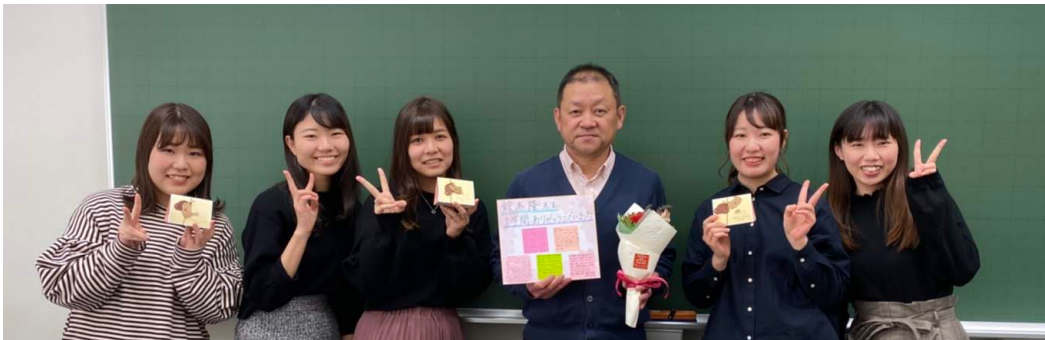
最近の学生が取り組んだテーマには以下のようなものがありました。

「なぜ鬼ごっこは人気なのかー保育者が遊びの伝承者になるためにはー」

「苦手な食べ物がある子どもが楽しく食事をするためには保育者はどうすべきか」

「子どもの意欲や興味を育む運動はいかにあるべきかーリズム体操に着目してー」

「群馬県の子どもの走力は生育環境に影響をうけるのか」



▶もっと知りたい方へ

【著書・論文】

「健康の指導法 改訂第2版」平成31年2月、玉川大学出版

「新・保育実践を支える 健康」平成30年3月、福村出版

「領域『健康』に関する専門的事項とはⅡー安全関連の先行研究のレビューと学問的背景の整理ー」共著、令和4年3月、乳幼児教育・保育者養成研究第2号

【講演等】

「運動遊びを通した子どもの育ちを考える」令和4年度小田原市私立幼稚園協会連続研修

「意欲的な子どもを育む保育を考える」令和4年1月、杉並区私立幼稚園連合会杉私幼教諭研修会